

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	教養基礎科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)絵本の研究 (英文名)Study of Picture Book				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)無し (英文名)無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語名)余郷裕次、平川恵実子 (ローマ字)YOGO YUJI、HIRAKAWA EMIKO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	学部1・2・3年生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1・2・3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningの ため、曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	絵本 フロンタリティ 画面構成 色彩 モンタージュ picture book frontality screen structure color montage				
21. 授業概要	まず、主に絵本の絵について、我々が普段あまり意識しない部分、1. フロンタリティ(まるい大きな正面 顔) 2. 画面構成 3. 色彩 4. 絵本モンタージュについて分析する。 次に、絵本の読み聞かせにおける1. 右脳・左脳の関わり 2. 育児語motheries 3. スキンシップ 4. 視覚的共同注視について分析する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	絵本のメカニズムを理解するとともに、絵本の読み聞かせの効果について理解する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 絵本のメカニズムを理解する。 2. 絵本の読み聞かせの効果について理解する。 3. 絵本の読み聞かせと実践への意欲を醸成する。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>○ 1回の授業の流れ1. 絵本の読み聞かせ 2. 絵本の分析① 3. 黙読の時間(15分間) 4. 絵本の分析② 5. 絵本の読み聞かせ</p> <p>○ 1回目: フロントリティ(まるい大きな正面顔)①／絵本『はじめまして』(ずずき出版) 2回目: フロントリティ(まるい大きな正面顔)②／絵本『はらぺこあおむし』(偕成社) 3回目: 画面構成①／絵本『にゃーご』(ずずき出版) 4回目: 画面構成②／絵本『りんごがたべたいねずみくん』(ポプラ社) 5回目: 色彩①／絵本『だるまちゃんとてんぐちゃん』(福音館書店) 6回目: 色彩②／絵本『ぐりとぐら』(福音館書店) 7回目: 色彩③／絵本『チリンのすず』(フレーベル館) 8回目: 色彩④／絵本『やさしいライオン』(フレーベル館) 9回目: 絵本モニタージュ①／絵本『でんしゃにのって』(アリス館) 10回目: 絵本モニタージュ②／絵本『かいじゅうたちのいるところ』(富士房) 11回目: 絵本モニタージュ③／絵本『11ぴきのねことあほうどり』(こぐま社) 12回目: 右脳・左脳の関わり／絵本『バムとケロのちようび』(文溪堂) 13回目: 育児語motheries／『いっきょくいきまあす』(PHP出版) 14回目: スキンシップ／絵本『ともだちやシリーズ』(偕成社) 15回目: 視覚的共同注視／絵本『バムケロシリーズ』(文溪堂)</p>	☑	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>○ 「授業スケジュール」に示されている絵本を準備すると講義がよく分かる。</p> <p>○ テキスト『絵本のひみつ—絵本の知と読み聞かせの心—』を使って復習する。</p> <p>○ 1日1回鏡に向かって自分自身に絵本の読み聞かせを実践する。</p>	☑	
28. 成績評価の方法と基準	中間レポート(40%)と総括レポート(60%)によって評価する。	☑	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	☑
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学50名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>○ 授業時間の間に「黙読の時間」が設定されています。読む本は自由です。しかし、その時間中はその1冊のみを読みます。</p> <p>○ 「絵本の研究」の受講をきっかけとして、絵本も自身の読書生活に取り入れてください。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	絵本のひみつ—絵本の知と読み聞かせの心—			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4-88606-127-0	著者名	余郷裕次	
		出版社	徳島新聞社他	出版年	2010	
		金額	1,100	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	絵本のひみつⅡ—愛を届ける仕掛けとしての絵本—			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4-88606-159-1	著者名	余郷裕次	
		出版社	徳島新聞社他	出版年	2020	
		金額	1,100	備考		
	参考書2	書名	絵本づくりトレーニング			
		I S B N	978-4-480-87120-9	著者名	長谷川集平	
		出版社	筑摩書房	出版年	1988	
		金額	1,870	備考		
	参考書3	書名	赤ちゃんは顔をよむ			
		I S B N	978-4-04405-216-4	著者名	山口真美	
		出版社	角川ソフィア文庫	出版年	2013	
		金額	649	備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	水曜日16:20～17:50			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	水曜日16:20～17:50			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	gsxr1100@naruto-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	gsxr1100@naruto-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	講義内容はシラバス記載の教科書に準じます。				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026年度	2. 開講学期	前期(前期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部	4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	四国地区5国立大学連携による共同実施科目	6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 初等中等教育における情報活用能力育成 (英文名) Cultivation of Information Use Skills in Elementary and Secondary Education			
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)無し (英文名)無し			
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 長井 映雄 (ローマ字) NAGAI Akio			
10. 時間割コード／申請コード／授業コード		11. 昼夜		
12. 単位数	1単位	13. 選必修区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	学部1年次生～2年次生・全学部	15. 対象年次／区分等／標準履修年次	学部1年次生～2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、曜日・時限は関係ない。	17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し	連携大学 学生向け	無し
19. 関連科目(関連科目コード番号)				
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	(1)情報活用能力, (2)情報教育, (3)学校教育 (1)Cultivation of Information Use Skills, (2)Information education, (3)School Education			
21. 授業概要	平成 29・30 年に告示された学習指導要領において、情報活用能力は言語能力、問題発見・解決能力と並ぶ「学習の基盤となる資質・能力」の一つと位置付けられた。本講義では、小・中・高等学校の各学校段階で育成される情報活用能力を体系的に整理するとともに、学校における情報教育の現状等についても概説する。		<input type="checkbox"/>	
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	学校教育において情報活用能力の育成が求められる背景を理解するとともに、今後の情報教育の方向性について考える。		<input type="checkbox"/>	
23. 授業の到達目標／学修課題	1. これまでの情報活用能力育成の経緯を説明できる。 2. 小・中・高等学校で育成が目指されている情報活用能力を説明できる。 3. 今後の情報教育の方向性, 求められる資質・能力について説明できる。		<input type="checkbox"/>	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)				

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 初等中等教育における情報活用能力</p> <p>第3回 小・中学校における情報活用能力育成①</p> <p>第4回 小・中学校における情報活用能力育成②</p> <p>第5回 小・中学校における情報活用能力育成③</p> <p>第6回 高等学校における情報活用能力育成①</p> <p>第7回 高等学校における情報活用能力育成②</p> <p>第8回 まとめ</p>		<input type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>予習として、文部科学省「教育の情報化の推進」サイトを参考にするなど、事前に情報教育の動向を把握しておくことをお勧めします。</p>		<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法:試験(講義毎の小テストで評価する),レポート(ディスカッションの内容,第8回の課題レポートで評価する)</p> <p>成績評価の観点:試験(学習到達度,主体的問題解決力等),レポート(客観性,批判的思考,新規性,妥当性,論理的思考,文章表現力)</p> <p>成績評価の基準:試験(60%),レポート(40%)</p> <p>注1:課題の提出やディスカッション,小テストの受験をもって出席とみなす。</p> <p>注2:指定された期日を過ぎて課題(試験,レポート)を提出した場合,提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。</p> <p>注3:試験,レポート,等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合,当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注4:講義毎に実施する小テストの未受験数が3回以上の場合,合計得点に関わらず不可とする。</p>		<input type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。</p> <p>なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名</p>		<input type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>なりすましによる受講と受験,レポート盗用,コンピュータ内への動画の保存・蓄積,インターネット上への無断配信・共有,掲示板における教職員,学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合,大学の規定に基づき厳正に対処します。</p>		<input type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>無し</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</p>			□																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	□																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	<p>特に設けない。電子メール(akionagai@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。</p> <p>【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 □</p> <p>【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください</p>		□																																																			
	連携大学 学生向け	<p>特に設けない。電子メール(akionagai@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。</p> <p>【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 □</p> <p>【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください</p>		□																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	akionagai@naruto-u.ac.jp		□																																																			
	連携大学 学生向け	akionagai@naruto-u.ac.jp		□																																																			
40. 教員の実務経験について	県立高等学校の情報科担当教員として教壇に立った経験のある教員が、情報教育の現状と今後の方向性等について理解を深めさせる授業を行う。			□																																																			

41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料(PDF)あり	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し	<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期(前期前半)	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 学校とICT教育				
	(英文名) School and ICT Education				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志				
	(ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1年次生～2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1年次生～2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)ICT, (2)学校, (3)教育, (4)情報教育, (5)児童生徒 (1)Information and Communication Technology, (2)School, (3)Education, (4)Information Education, (5)Pupils				
21. 授業概要	児童生徒の情報行動の現状や学校におけるICT活用の状況について概観する。また、小学校、中学校、高等学校をはじめとした学校教育における情報教育の現状についても概説する。総じて、児童生徒のICT活用の現状を踏まえ、学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の情報行動の現状について理解する 学校におけるICT活用の現状について理解する 学校教育における情報教育の現状について理解する 学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える 				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の情報行動の現状について理解することができる 学校におけるICT活用の現状について理解することができる 学校教育における情報教育の現状について理解することができる 学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考えることができる 				<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)								
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 オリエンテーション 第2回 児童生徒の情報行動 第3回 学校におけるICT活用 第4回 小学校における情報教育 第5回 中学校における情報教育 第6回 高等学校における情報教育 第7回 学校における情報教育の課題と今後の方向性 第8回 まとめ	□						
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため、予習と復習を勧めます。 予習として、文部科学省の教育の情報化の推進サイト等、情報教育に関する情報を事前に読んでおくことをお勧めします。復習として、講義で学んだ内容を復習しておくことをお勧めします。	□						
28. 成績評価の方法と基準	成績評価の方法:試験, レポート 成績評価の観点:試験(学習到達度, 主体的問題解決力等), レポート(客観性, 批判的思考, 新規性, 妥当性, 論理的思考, 文章表現力) 成績評価の基準:試験(60%), レポート(40%) 注1: 指定された期日を過ぎて課題(試験, レポート)を提出した場合, 提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。 注2: 試験, レポート, 等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合, 当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。 注3: 質疑や学習のフィードバック:適宜行いますが, 内容に応じて回答に時間を要する場合があります。	☑						
29. 再試験の有無	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">自大学学生向け</td> <td>再試験は行わない。</td> </tr> <tr> <td>連携大学学生向け</td> <td>再試験は行わない。</td> </tr> </table>	自大学学生向け	再試験は行わない。	連携大学学生向け	再試験は行わない。	□		
自大学学生向け	再試験は行わない。							
連携大学学生向け	再試験は行わない。							
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。 受講人数制限:あり 香川大学30名・徳島大学30名・鳴門教育大学30名・高知大学30名・愛媛大学30名	☑						
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">受講期間について</td> <td>教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。</td> </tr> <tr> <td>学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について</td> <td>履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。</td> </tr> <tr> <td>受講の辞退について</td> <td>受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学教務で手続きしてくだ</td> </tr> </table>	受講期間について	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。	学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について	履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。	受講の辞退について	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学教務で手続きしてくだ	☑
受講期間について	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。							
学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について	履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。							
受講の辞退について	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学教務で手続きしてくだ							

		さい。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。		
	禁止事項について	なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。		<input type="checkbox"/>	
	教科書1	書名		
		ISBN		著者名
		出版社		出版年
		金額		備考
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名		
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
	参考書2	書名		
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
	参考書3	書名		
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
34. Webテキスト(URL・説明)	無し		<input type="checkbox"/>	
	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し <input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。	<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。	<input type="checkbox"/>	

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	無し		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	動画の音声を一部文字起こししたテキスト資料あり。		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>